

## 中部ファッション専門学校

# マイスター招き縫製講座

## 工業用ミシンの実技指導

中部ファッション専門学校（愛知県知立市）は7月4日、縫製工場のゴトーホ

生とスペシャリスト学科3年生の学生の計23人。

ーサー（岐阜県関市）の社長で厚生労働省の「ものづくりマイスター」認定を受けている後藤尚之氏を招いて、縫製実技指導を行った。対象はファッション学科クリエイターコース2年

この数年で縫製工場に就職し、ミシンオペレーターを目指す学生が増えていることから、工業用ミシンの扱い方や実際の縫製工場の現場ではどのような縫い方をしていくのかなどを学び、縫製への理解を深める



後藤氏の実技指導を受ける学生

の一つ。

2年生は婦人子供既製服縫製作業の技能検定3級レベルの実技指導でタイトスカートを、3年生は技能検定2級レベルの実技指導で薄物のワンピースをそれぞれ製作した。

工業用ミシンは家庭用ミシンと比べると針送りのスピード

のが目的。また指導を通じて、安全で正確に早く縫う技術を身に着けるのも狙い

や糸の見方、ミシンの手さばきに良い変化が出ている」（中部ファッション専門学校）としている。

縫製工場への就職を希望する学生は「今は慣れたが、最初は工業用ミシンのスピードが速く怖かった」としながら、「糸を切る場所や通す順などが、ポータブルミシンとは全然違う。すごく勉強になった」と話した。

実技指導は22年、24年と行っており、今年で3年目になる。